

次代の農業を担う

～栃木県農業大学校生のチャレンジ～ ⑬

夢・実現・県内一のニラ農家

～職業として農業を選んで～

私の家はニラの専業農家です。私は、高校卒業後鹿沼市内の会社に勤めていたが、昨年、ニラ栽培を始めた父親からの誘いをきっかけに転職し、本格的に農業を学ぶ決心をしました。

父は2年前に私と同じく、農業大学校に



あるとちぎ農業未来塾で学んだ後、ニラ専業農家となりました。そうしたこともあり、私自身も今年の4月から未来塾に入塾し農業の基礎を学んでいます。また、未来塾の研修と並行して地元でニラ栽培をしている農業士さんのところでも研修を受け、実践的な技術や農業経営についても学んでいます。

えが経営を左右する職業で、手をかければその分だけ収量がアップし、所得が向上します。そのため、未来塾では仲間との情報交換を大切にし就農に向けた準備も除々に整ってきています。今年4月に就農する際には父親とは別のハウスを建て、独立して

経営を始めたいと考えています。

しかし、まだまだ技術的には未熟なため、今後、J A 上都賀ニラ部会の講習会や研修会にも積極的に参加し技術習得を図るとともに、地元の4 H C 活動では同世代の仲間と交流も増やしていきたいと考えています。将来的には、上都賀地域の担い手として認定農業者となり、地域の模範となる農業者を目指して頑張っていきたいと思っています。

〔とちぎ農業未来塾〕就農準備

専門研修・施設野菜専攻

金子真幸



私の目指す「カツコイイ農業」

私は、農業大学校で露地野菜を専攻し、さまざまな種類の野菜の栽培方法を学んでいます。実習を通して、農業経営に必要な実践力を養うとともに、先生や友人と協力しながら作業する大切さも学びました。卒

業論文の題材には本州でほとんど栽培されていない珍しい品種の「紫山羊」を選び、その収量や粘性および品種比較の試験を行い、本県での栽培の可能性等について調査研究をしています。

卒業後は、海外研修を経て就農する計画です。稲作中心の経営に露地野菜を導入するとともに、調理師免許の資格を活かし、自分で栽培した野菜を加工・販売する6次産業化にも取り組み、収益性の高い農業経営を目指したいと考えています。

具体的には、他では食べることのできない、珍しい野菜を食べられたり、無農薬野菜のみを使用するお店を出す、自分の農業を料理で表現するなど様々なことを考え、夢が膨らんでいます。

農業があるから食が生まれ、出され、その食があるからこそ今この時、人々は健康に生きているのだと思います。農業担い手の減少・高齢化が進む中、自分を含め若い人たちでもっと農業を盛り上げていきたいです。そのため、これから経験を積んで、様々なことを学んでいきたいと思います。これが僕の目指す「カツコイイ農業」です。

(農業経営学科

関谷慶一郎)

